

IV 丸の内から新宿へ



丸の内庁舎空撮 財務局庁舎管理部『写真記録 旧丸の内都庁舎』平成3年(1991)

昭和46年(1971)東京都本庁舎建設審議会が設置され、都庁舎のあるべき姿と位置について諮問が行われました。以後、新たな都庁舎の建設地を、丸の内にするか、新宿にするかの長い議論が始まります。

昭和54年(1979)鈴木俊一知事の就任後、庁舎問題はマイタウン構想懇談会(昭和54~55年)で取り上げられ、「シティ・ホール」の建設が提起されました。

その後シティ・ホール建設構想懇談会(昭和57~58年)、シティ・ホール建設審議会(昭和59年)における検討・審議を経て、東京都庁の位置を西新宿に定める条例が制定されたのは昭和60年(1985)10月のことでした。

年	月(日)	
昭和25年	1950 10月	都議会議事堂(着工25年1月)竣工
昭和32年	1957 2月	第一本庁舎(着工28年3月)竣工
昭和37年	1962 4月	第二本庁舎(着工33年10月)竣工
昭和46年	1971 11月	東京都本庁舎建設審議会発足
昭和50年	1975 1月	第三本庁舎(着工47年10月)竣工
昭和54年	1979 8月	マイタウン構想懇談会設置
昭和57年	1982 1月	東京都シティ・ホール建設構想懇談会発足
昭和59年	1984 4月	東京都シティ・ホール建設審議会発足
昭和60年		8月 知事により「東京都シティ・ホール建設計画基本構想」発表
	1985 9月(30日)	都議会で「東京都庁の位置を定める条例」が可決成立
	10月(1日)	「東京都庁の位置を定める条例」公布

このコーナーでは、なぜ西新宿が都庁移転の候補地となったのかを探り、次いで新宿移転決定に至る経緯を、公文書によって見ていきます。行政の意思決定のために作成され、関係者が承認の捺印を重ねていく公文書の実際の形をじっくりご覧ください。